

公益財団法人 神澤医学研究振興財団「神澤医学賞」を贈呈

昭和医科大学医学部 松本光司教授が受賞 我が国のHPV感染と子宮頸部発癌に関する臨床疫学的・免疫学的研究

講演会では、産科・婦人科学の研究分野で先見的・独創的研究により顕著な功績をあげた研究者に贈られる神澤医学賞(研究褒賞)の贈呈式も行われ、第28回神澤医学賞を受賞した昭和医科大学医学部産婦人科学講座の松本光司教授に、神澤理事長より賞状が贈られました。

HPV研究で多大な功績

松本教授は、子宮頸 てきました。研究の内容及び原因となるヒト容は、国内でのHPVパピローマウイルス 感染の広がり方、HPV(HPV)の研究を、Vの型ごとのがん化リ約30年にわたって続け スク、HPVワクチン



神澤医学賞を受賞した松本光司教授(左)と神澤理事長

示してきた点にありま す。HPVの疫学研究では、日本最大規模のHPV型判定データ(5045例)を用いて、40歳未満の女性では、HPV16型と18型感染を予防する2価/4価ワクチンで子宮頸がんの約85%を予防でき、さらにHPV31型、33型、

の効果を評価、さらに子宮頸がんができる仕組みに関わる免疫学的な仕組みや治療ワクチンの基礎研究まで、多くの分野にわたります。これらの研究は、国内外で高く評価されています。松本教授の研究の大きな特長は、さまざまな方向から調べながらも、常に診療や社会に役立つ形で成果を示してきた点にあります。HPVの疫学研究では、日本最大規模のHPV型判定データ(5045例)を用いて、40歳未満の女性では、HPV16型と18型感染を予防する2価/4価ワクチンで子宮頸がんの約85%を予防でき、さらにHPV31型、33型、45型、52型、58型感染も予防する9価ワクチンが普及すれば、約94%を予防できるという試算結果を報告しました。また、病変の移行と関係していることから、HPV16型は抗原性を高めることで、特定のHLAを持つ人の免疫から逃れやすくなる、発がん性を高めていることを明らかにしました。免疫学的基礎研究では、マウス皮膚移植モデルを用いて、HPVの発がんタンパク質E7が非常に特殊な抗原であることや、子宮頸がんの免疫療法ではワクチン接種に加えて、E7特異的傷害性T細胞の移入免疫療法を同時に行う必要が

贈呈にあたり

松本先生、この度は神澤医学賞のご受賞、誠にありがとうございます。

松本先生のご研究は、先見性、獨創性に富んだ神澤医学賞に相応しい内容でありました。当財団を代表いたしましたして、深甚なる敬意を表します。

少子高齢化が経済社会に深刻な

公益財団法人 神澤医学研究振興財団 理事長 神澤 陸雄

影響を与えることが懸念される今日、当財団も更なる公益事業の充実を図り、目的達成のために鋭意まい進する所存でございます。松本先生におかれましては、本賞受賞を機に女性医学研究の第一人者として後進を育み、益々研究に励まれ、活躍されますことを心より祈念申し上げます。

医療面からの少子化対策を後押し

神澤医学研究振興財団は、日本における最も深刻な課題のひとつである少子・高齢化問題に対し、女性の健康保持、増進を図るための産科および婦人科医療の分野における医療面からの貢献を目的に1997年6月に設立されました。以来、周産期および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療などに資するための多角的な研究の奨励事業を行っています。設立にあたっては、当時のキッセイ薬品工業代表取締役会長・神澤邦雄の私財と、同社から創業50周年を記念して資金が提供されました。2010年に内閣府公益認定等委員会より公益財団法人への移行認定を受け、「公益財団法人神澤医学研究振興財団」へ移行しました。

これまで(1997~2025年)に神澤医学賞27件(8,600万円)、研究助成287件(3億9,700万円)、海外留学助成110件(6,100万円)の褒賞・助成事業が行われ、その研究成果は広く公表されて医療・医学の発展に寄与しています。



財団の概要 (2026年3月31日現在)	
名称	公益財団法人 神澤医学研究振興財団
所在地	〒399-8710 長野県松本市芳野19番48号
所轄行政庁	内閣府
設立	1997年6月27日
公益財団移行	2010年7月1日
主たる出捐者	故・神澤邦雄、キッセイ薬品工業株式会社
設立経緯	当時のキッセイ薬品工業株式会社代表取締役会長神澤邦雄からの私財の提供、およびキッセイ薬品工業株式会社からの創業50周年を記念しての資金提供により設立。
基本財産	2,786,947,771円
設立目的	周産期を中心とするリプロダクティブ・エイジ(出産適齢期)および高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療等の多角的な研究の奨励等を行うことにより、医療・医学の発展を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。
事業内容	設立目的達成のため以下の事業を行う。 (1) 研究助成 (2) 海外留学助成 (3) 優れた研究成果に対する褒賞(神澤医学賞) (4) 講演会等の開催 (5) その他本財団の目的を達成するために必要な事業
研究褒賞・助成計画	神澤医学賞(研究褒賞) 1件500万円 1件 研究助成 1件250万円 10件 海外留学助成 1件100万円 4件

公益財団法人 神澤医学研究振興財団

マイページログイン JP / EN

HOME 助成事業 褒賞事業 講演会等 当財団について 助成金申請/褒賞推薦 お問い合わせ

遠い日の
母の温もりを
感じる瞬間・・・

https://kanzawa-f.kissei.co.jp
神澤医学研究振興財団 投資

KANZAWA MEDICAL RESEARCH FOUNDATION